

知って備える 防災メモ

第81回



冬季の停電に備えましょう

平成24年11月の暴風雪や平成30年9月の胆振東部地震によって、大規模な停電を経験した登別市。

特に、平成24年11月に発生した停電では、寒さへの対応が必要となりました。

自然災害に伴い発生した停電は、長期化する傾向にあり、冬季に発生した停電では、多くの暖房器具の使用ができなくなります。寒さは、私たちの体力を急激に奪い、凍傷や低体温症などを引き起こし、生命を脅かすこともあります。

いざというときに自分や家族の命を守るためにも、しっかりと準備しておくことが大切です。

寒さから身を守る

懐中電灯やランタンなど、すぐに使える照明器具などの準備はもちろんです。北海道などの寒い地域においては、停電時に備えて、灯油やカセットボンベを燃料とした、電源を必要としないポータブルストーブなどを備えておくことが重要です。

室内で使用する場合は、定期的な換気を忘れない、使用中はその場から離れないなど、火災についても、十分注意し、使用方法を事前に確認しておきましょう。

また、暖房器具の故障などに備えて、カイロや厚手の靴下、スリッパなどの防寒具を用意するなど、寒さから身を守る選択肢を複数用意しておくことも大切です。

寒さが厳しくなるこれからの季節、大雪など、冬ならではの災害を日頃から想定して、必要なものを備えておきましょう。



多めの買い置きが
備蓄になります

▼問い合わせ
総務グループ (☎85 1 1 3 0)

人が輝き まちがとぎめく

仲間たち

Group

すずらん



笑顔が溢れるメンバーと ミニバレーを楽しみませんか

『すずらん』は、同じ幼稚園に子どもを通わせていたお母さんたちが親睦を深めるため、平成19年に発足したミニバレーサークルです。

現在のメンバーは、30代から60代までの女性17人。毎週火曜日の10時から12時まで総合体育館で活動しています。

「ミニバレーは、ボールが柔らかいことやネットが低いことなどから子どもや高齢の方でも楽しみやすいことが魅力の一つです。ルールは試合をしながらメンバーが教えますし、声を掛け合いコミュニケーションをとりながらプレーするので、すぐに打ち解けることが出来ると思います」と教えてくれたのは代



▲声を掛け合いながらパスをつなぐメンバー

表の嶋津さん。

「メンバーはとても仲が良く、試合中も休憩中も常に笑いの絶えないサークルです。和気あいあいとした雰囲気、あまり勝ち負けにはこだわらず、みんな楽しんでむことを大切にしています。無理をせずに適度な運動ができるので、ストレス発散にもなります」と笑顔で話してくれました。

メンバーの佐藤さんは「友人の誘いがきっかけで入会しました。最初、見学だけのつもりで来ましたが、サークルの雰囲気にはまり、そのまますぐに入会しました」と笑顔を見せます。

年齢や経験を問わず、大歓迎の同サークル。見学を希望する方は直接総合体育館(毎週火曜日10時〜)へお越しください。